

# 葦

大阪発達総合療育センター機関紙  
第45号 2022年夏

社会福祉法人 愛徳福祉会

## 大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

### INDEX

|                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| ・葦45号挨拶文 ……………1P         | ・ホスピタルアートのとりくみ……………3P |
| ・葦45号挨拶文 ……………1P         | ・リレーエッセイ ……………3P      |
| ・麻酔科15年のあゆみ ……………2P      | ・わかば運動会 ……………4P       |
| ・グループホーム「きらり」がオープンします…2P | ・寄付金と寄付物品 ……………4P     |
|                          | ・職員研修実績状況 ……………4P     |

### ■葦45号挨拶文

社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

鈴木 恒彦



新型コロナウイルスのため、依然として医療が逼迫している昨今ですが、当センターの整形外科手術は幸い現在無事続けられています。これには、北村征治先生による麻酔科15年のあゆみの中の、長年の現場での地道な取り組みがあったことを肝に銘じたいと思います。ふたば通園児のご両親様からの御厚意によるホスピタルアートのとりくみは、コロナ禍のセンター内の一隅に明るい夢の世界を導き、同月にはわかば運動会も開かれ、つかの間の集合行事の中で子どもたちのはじける笑顔の時間となりました。8月1日に開設したグループホーム「きらり」では、甲村知寛氏がモットーとしている、「障がいがあっても楽しく生きる」場面を期待しています。

### ■葦45号挨拶文

南大阪小児リハビリテーション病院 院長

川端 秀彦



この冒頭の挨拶をいつまでコロナの話から始めなければならぬのかと思うと暗澹たる気分になります。せめてこの葦が皆さんの手元に届く頃には第7波もピークアウトしていることを期待しています。さて今回の特集で採り上げた麻酔科ですが、わかばスタッフ以外にはあまりなじみがないかもしれません。しかし麻酔科は手術にとってはなくてはならない重要な職種です。北村先生、15年間本当にありがとうございました。谷口先生、これから永くよろしく願いいたします。一方の1階の廊下に描かれているホスピタルアートは建物に入ると全員の目に触れるものです。ひとりの利用者様とそのご家族様の気持ちが形になって表れた物語はすべての人たちを和ませてくれています。職員全員の努力でここまで頑張ってきています。いいことも、いいことでないことも纏めて受け止めて、前進していきましょう。





## 麻酔科15年のあゆみ

麻酔科 医師

北村 征治

2022年4月から麻酔科代表医の谷口晃啓医師への交代を機会に、現体制15年間の総括をご報告します。私は2007年4月麻酔科専門医として一人で着任、その直後清水院長から、諸般の事情で当面は十分には設備はできないが我慢してほしいと念を押され、簡易な麻酔器と生体モニター1台のみのわびしいスタートでした。初年度から5年くらいかけて追加整備された麻酔関連備品は、ラリゲルマスクを含む気道確保用器具類、体温管理用温冷水マットシステム、転倒しない輸液スタンド、電動手術台と電気メスの更新、温風ブランケット（台湾から寄付）、BISモニター、電動タニケット、ビデオ喉頭鏡類、麻薬麻酔を可能とするシステムの構築など、看護部、薬局、ME技師、SE技師など多職種の協力も不可欠でした。2015.9月から手術日が週2日(川端先生.手術開始)、2016年：電子カルテ導入、麻酔専門医の外部招聘の開始、2017年：自動麻酔記録システム導入、2021年：麻酔器の上位機種への更新で、ようやく他施設と比較が可能なレベルになりました。



この15年間の麻酔件数は、最初から9年目までは手術日が週1日で年間70～90例、それ以後は週2日、年間120～130例となり、15年間の総麻酔症例数は、1407例（本年3月末）となっています。大半が小児手術であることは当然ですが、ほとんど全例が全身麻酔管理です。また脳性麻痺を代表とした基礎疾患を有する児や合併奇形の児などがかなりの割合を占め、麻酔重症度分類で「健常者」が少ないのが、一般の小児病院とは異なった特徴です。勿論周術期管理の立場から重症例は無理をせず他の総合病院にお願いしますが、年間5人程度あります。15年間に、術前には予測できなかった重度の麻酔合併症は2例ありましたが、それらを含め全症例、安全に手術ができています。関連各位のご協力に感謝いたします。今後とも、新体制の麻酔科へのご支援も、よろしく願いいたします。

## 「グループホーム「きらり」がオープンします。」

運営局 局長 梶浦 正

以前よりお知らせしておりましたグループホーム「きらり」が8月1日にオープン致しました。2019年に土地を購入してから実に3年越しのスタートとなります。

資材不足で懸念された工期も5月末で完了。6月には入居者の方を対象とした内覧会及び入居説明会、7月には入居に関する契約会と試食会を行いました。

入居される皆さんは初めての「きらり」での生活に不安な気持ちも持たれながらも、8月からの生活を楽しみにされています。

法人としては初めてのグループホーム運営となります。現在運営しておりますフェニックス等の長期入所とはまた違った支援を求められ、従事する職員は試行錯誤しながら、色々とチャレンジしていきたいと思っております。そして第二第三の「きらり」オープンの足掛かりとなるよう頑張っていきますので、宜しく願い致します。





# 『ホスピタルアートのとりぐみ』

ふたば 園長 岩元 康  
看護師 杉村 恵子

「ふたばの子どもたちのために使ってください。」その一言から始まりました。

就学を前に天国へ旅立ったふたば通園児のご両親からのことばとご寄付を前に、何がふさわしいのか、ふたばスタッフで熟考を繰り返しました。その中で、お子様がふたばのみならず当センターに通うこと、特に廊下を歩くことやエレベーターが好きだったことから、その壁面やエレベーターにホスピタルアートを施すことに決めました。

初めにNPO法人アーツプロジェクト様（以下、アーツ様）に相談し、両スタッフとご両親を交えて取り組みについての話し合いを行いました。両親、ふたば職員でお子様の思い出やふたばの子どもたちの様子などを語り、アーツ様と分かち合いました。そして、これをもとにしたシロツメグサの花と葉、愛らしい動物や昆虫などの物語が生まれました。そこには、彼らがパラバルーンやブランコ、ゴムの輪などのふたばの遊びを楽しむ姿が描かれています。

今回の取り組みは単に壁面に絵を描くのではなく、ふたばの子どもたちが創造するというコンセプトが含まれています。コロナ禍でスケジュールが延びる中、今年3月13日には在園児とご家族、また、6月5日にはお子様の同級卒園児とご家族によるワークショップを開催しました。子どもたちひとりひとりでハートのスタンプが添えられ、個性豊かなシロツメグサの草原が広がりました。



最後に、この物語「あおい風船たちのふわふわ散歩」がこれからも紡がれ、当センターを利用される方々の心を癒し、明るく通っていただけるようお願いしています。

末筆ながら、ご寄付を頂きましたご両親はじめご協力頂きました全ての皆様に感謝申し上げます。



## リレーエッセイ

療育部 わかば 甲村 知寛

今回、機関紙第45号のリレーエッセイを担当させていただきます、2F医療型障がい児入所施設わかば、学習指導員の甲村知寛です。

私の仕事は、入所している子ども達に絵本の読み聞かせや活動の提供を行っています。特に読み聞かせでは、自分の声やトーンを変えると子ども達の反応が様々あり、非常に面白いです。仕事を通じて子ども達の笑顔が見られることが何よりのやりがいです。

私個人の話をしますと、私のモットーは、「障がいがあっても楽しく生きる」です！

趣味がスポーツ観戦で先日、阪神タイガースが6点差をひっくり返すという大逆転勝利に立ちあえたことが一生の思い出になりました。次は、私のヒーローであるサッカー選手リオネル・メッシに会うためにチケットを狙います！

皆さんは、楽しい、幸せな出来事がありましたか？次回は療育部 上野剛士職員です。お楽しみに！



# イベントピックス

## わかば 運動会

2022年6月25日(土)に、センター5階ホールにて「わかば運動会」が開催されました。利用者様はチーム対抗で、かけっこやのあてなどの種目を楽しみました。



大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

(R4.4 ~ R4.6)

(R4.4 ~ R4.6)

一般寄付金

| 月  | 寄付者 (敬称略)                            |                           |
|----|--------------------------------------|---------------------------|
| 4月 | 匿名                                   | 本園                        |
| 5月 | 楽基金 1件                               | 本園                        |
| 6月 | 国際ソロプチミスト大阪-中央<br>匿名<br>匿名<br>楽基金 2件 | 本園<br>本園<br>グループホーム<br>本園 |

寄付物品

|    | 寄付者 (敬称略)      | 物品名              |          |
|----|----------------|------------------|----------|
| 4月 | 奥野杏子           | ゲーム機器            | 本園       |
|    | 匿名             | おもちゃ             | 本園       |
|    | 匿名             | クッション類           | 本園       |
|    | 匿名             | おもちゃ             | 本園       |
| 5月 | 潮見邑果           | 吸引器              | 本園       |
|    | 匿名             | 車いす              | 本園       |
|    | 匿名             | 幼児用 乗用玩具         | 本園       |
|    | 牟禮 眞沙子         | 足用装具SLB          | 本園       |
|    | 匿名             | おもちゃ             | 本園       |
| 6月 | 匿名             | ビニールボール、バスボール    | 本園       |
|    | 炭田千津子、ゆうな      | ヘッドギア            | 本園       |
|    | 匿名             | 絵本               | 本園       |
|    | 林清乃<br>本多靖子、健人 | かぶとむし<br>靴、装具SLB | 本園<br>本園 |

## 職員研修実施状況

令和4年4月~6月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

| 実施日時                                      | 企画部署             | 研修名                             | 講師                               | 参加人数 | 場所     |
|---|------------------|---------------------------------|----------------------------------|------|--------|
| 令和4年<br>4月1日(金)・4日(月)・5日(火)<br>9:00~17:30 | 教育研修部            | 令和4年度新入職員研修<br>(兼令和3年度中途採用者研修)  | 鈴木恒彦理事長 他                        | 30名  | 5階ホール  |
| 令和4年4月19日(火)<br>17:40~18:40               | 教育研修部            | 人権研修<br>「院内暴力対応研修」              | 公益財団法人大阪府暴力追放推進センター<br>次長 橋野 穰 氏 | 98名  | 5階ホール他 |
| 令和4年5月21日(土)<br>13:30~17:30               | 教育研修部            | 令和3年度入職<br>新人フォローアップ研修          | 株式会社インソース<br>黒山みちよ氏              | 21名  | 5階ホール  |
| 令和4年6月2日(木)<br>17:40~18:40                | 感染管理委員会<br>教育研修部 | 感染管理対策研修<br>「標準予防策と新型コロナウイルス対策」 | 大阪府済生会泉尾病院<br>感染管理認定看護師 田中ちよ氏    | 136名 | 5階ホール他 |
| 令和4年6月18日(土)<br>13:30~17:30               | 教育研修部            | 若手職員パワーアップ研修                    | 株式会社インソース<br>黒山みちよ氏              | 15名  | 5階ホール  |



### 大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)  
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)  
主として重症心身障がい児者  
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児  
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児  
いぶぎ(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)  
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)

〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21  
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会  
発行責任者・鈴木恒彦

訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)  
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856  
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業)  
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856  
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)  
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児  
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児  
〒552-0004 港区夕凧2-5-3  
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524